

英語学科・教育研究上の目的及び3つのポリシー

教育研究上の目的

外国語学部英語学科は、英語学に加えてドイツ語学、フランス語学に関する学識を修め、幅広い教養と国際的視野に立脚した職業能力を有する人材の養成を目的とする。

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

英語学科は、卒業に必要な単位を取得し、以下に示すような能力を備えていると認められる学生に、卒業の認定を行い、学士（英語学）の学位を授与する。

1. 豊かな教養と専門的知識およびそれを活用する技能

(1) 英語学および関連領域についての豊かな専門知識を有し、目標学修言語を用いて円滑なコミュニケーションをとることができる。

2. 他者との共同による問題発見・解決能力と、それを支える思考・判断・表現力

(1) 社会的・世界的なことがらについて、目標学修言語によるメディアからの情報を正確かつ批判的に読み取り、あるいは聞き取り、それについて自分の考えを述べ、また文章にまとめることができる。

(2) 英語学および関連領域についての豊かな専門知識を基盤として、自らの視点から目標学修言語を通して発信ことができる。

(3) IT スキルを駆使して収集したデータを分析し、結論を導いて発表することができる。

3. 自律的学習者として学び続け、社会に貢献する意欲と能力、社会の担い手としての使命感

(1) 現在の知識をもとに新しい情報を常に収集し学び続けることで、急激に変わりゆく現代社会に貢献できる能力を有する。

4. 本学の建学の精神や本学の理念に対する理解

(1) 西洋の文化の理解を深め、東西文化を融合して新しい文化の創造に貢献することができる。

(2) 異文化体験や異文化理解を通じて培った多文化への許容性を活用し、理解ある構成員として多文化共生社会で活躍する。

教育課程の編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー）

英語学科は、卒業認定・学位授与方針に掲げる能力を修得させるために、以下のような内容、方法、評価の方針に基づき、教育課程を編成する。

1. 教育内容

(1) 英語コースおよびヨーロッパ2言語コースの2コース制をとる。英語コースは英語と選択外国語を、ヨーロッパ2言語コースは英語とドイツ語またはフランス語を主たる目標学修言語とする。

(2) いずれの目標学修言語においても、日常的な事柄について対話するスキルを向上させる授業科目を置く。

(3) いずれの目標学修言語においても、社会的な事柄や経済・環境・人権・開発・女性などの地球的問題（グローバルイシュー）について語り、また書く授業科目を置く。

(4) 英語学およびその関連領域の地域の文化、社会、歴史等について学ぶための、入門、概論、研究という系統だった科目群を置く。

- (5) 情報を収集し、分析し、発表するための IT スキルを養成する科目群を置く。
- (6) 自分の力で情報を収集・分析し結論を導き出して発表するスキルを養う、ゼミナールを配する。
- (7) 学問分野で分類された基本科目、学際的な課題（テーマ）科目、発展科目からなる全学共通科目を置く。

2. 教育方法

- (1) 主体的な学びを促進するために、専門科目においては、アクティブ・ラーニングを取り入れた教育方法を採用する
- (2) 1 年次より 4 年次まで、少人数のゼミナールの履修を必修化し、インタラクティブな教育を実施する。
- (3) 海外での体験学習の受講（留学）を積極的に推奨する。

3. 評価方法

- (1) 学位授与方針で掲げられた能力の修得度合いを、英語学科における卒業要件達成状況、単位取得状況、GPA、外部客観テスト等の結果によって形成的に測定する。

入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

英語学科は、教育研究上の目的、ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）、カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成・実施方針）に基づき、次のような要件を備えた受験生を各種選抜試験によって受け入れる。

1. 知識・技能

- (1) 高等学校卒業レベルの十分な学力を有している。
- (2) 簡単な事柄について英語で自分の意見を表現できる能力を有している。
- (3) 現代社会の諸相について問題意識を有している。

2. 思考力・判断力・表現力

- (1) 現代社会の諸相について考え、判断し、自分の意見を表現することができる。

3. 主体的に学習に取り組む態度

- (1) 異文化体験・異文化理解を通じて自分自身のものの見方を広げ、また深めたいと考えている。
- (2) 将来、英語、ドイツ語、フランス語の能力を活かした職業に就きたいと考えている。
- (3) 英語の運用能力をさらに向上させたいと考えている。
- (4) 英語という言葉および関連する分野について、学問としてさらに深く学びたいと考えている。
- (5) ドイツ語あるいはフランス語を学び、またドイツ語圏やフランス語圏などのヨーロッパ文化について学びたいと考えている。

英語学科アドミッション・ポリシーと各入学選抜試験との関連表

入試方式	選抜方法	アドミッション・ポリシー		
		知識・技能	思考力・判断力 ・表現力	主体的に学習に 取り組む態度
		AP1	AP2	AP3
一般選抜 桐門の翼奨学金試験 ※選抜方法は入試方式で異なる	学力試験			
	英語民間試験スコア	●		
一般選抜 (英語民間試験活用総合評価型)	英語民間試験スコア	●		
	課題		●	●
	調査書 等	●		
総合型選抜 学校推薦型選抜 特別選抜 ※選抜方法は入試方式で異なる	調査書 等	●		
	英語	●		
	小論文	● (言語の技能)	●	●
	自己推薦書	● (言語の技能)	●	●
	口頭試問 (英語を含む)	●	●	●
	個人面接	●	●	●